訴　　　　状

平成○年○月○日

○○地方裁判所民事部　御中

　　　　原告訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎　印

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○○番○号

　　　　原　　　　　　　　告　　　甲　　　山　　　明　　　子

〒○○○－○○○○　東京都○○区××○丁目○番○号□□ビル○階

　　　　　　　　　　　　甲野法律事務所（送達場所）

　　　　上記訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎

　　　　　　　　　　　　　電　話　０３－○○○○－○○○○

　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　０３－○○○○－○○○○

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○番○－○○○号

　　　　被　　　　　　　　告　　　乙　　　川　　　花　　　子

慰謝料請求事件

　訴訟物の価額　　○○○万円

　貼用印紙額　　　　　○万円

第１　請求の趣旨

１　被告は，原告に対し，○○○万円及びこれに対する平成○年○月○日から支払済みまで年５分の割合による金員を支払え。

２　訴訟費用は被告の負担とする。

３　仮執行宣言

第２　請求の原因

１　原告と訴外某の間の婚姻生活

原告と訴外某は平成○○年婚姻し，都内某所において１０年にわたって円満な婚姻生活を送っていた（甲１）。下記２の不貞行為が発覚するまで，離婚に繋がるようなトラブルは全くなかった。

２　被告と訴外某による不貞行為

平成○年○月○日，原告は自宅において，訴外某が別の女性とともに撮影されている写真を発見した（甲２）。写真に撮影されている周囲の状況に鑑みれば２人だけで旅行に行っていたものと判断するほかなかったため訴外某を問いつめたところ，訴外某は被告との交際を認め，逆に原告に対し，離婚の話を切り出してきた。

３　上記不貞行為による婚姻関係の破綻

上記のような訴外某の身勝手な言い分に原告は驚愕し，もはや夫婦共同生活を送ることはできなくなってしまった。以来，訴外某の元を去って実家で生活している。

その後，訴外某から離婚届が送られてきたので，署名・押印して送り返したことにより離婚が成立した。ただ，訴外某には見るべき資産はなく，離婚に伴って慰謝料が支払われることはなかった。

４　それにより原告が被った精神的な苦痛

訴外某と被告の不貞行為により一方的に離婚に追い込まれたことによって，原告は多大な精神的ダメージを受けた。そのストレスによって体に変調を来しており，現在に至るまで通院治療を続けている（甲３）。

本件不貞行為によって原告が被った精神的損害は，少なく見積もっても金○○○万円を下ることはない。

５　よって，原告は被告に対し，慰謝料金○○○万円及びこれに対する平成○年○月○日から支払済みまで年５分の割合による遅延損害金の支払を求める。

１　甲１号証　戸籍謄本

２　甲２号証　写真撮影報告書

３　甲３号証　診断書

１　訴状副本　　　　　　　　　　　　　１通

２　甲１ないし３号証（写し）　　　　各２通

３　証拠説明書　　　　　　　　　　　　２通

４　訴訟委任状　　　　　　　　　　　　１通